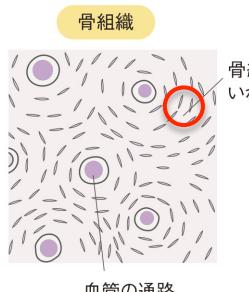
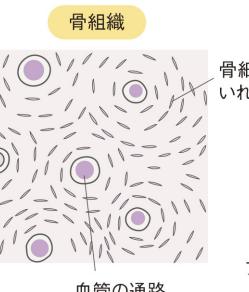


正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申しあげます（2019年1月22日）

■第2版 第5刷（2018年2月20日発行）の修正・更新箇所

※第1刷からの修正箇所はhttps://www.yodosha.co.jp/correction/9784758108768_corrections.pdfをご参考ください

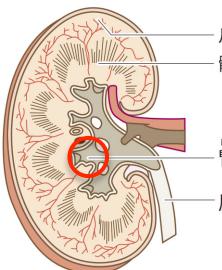
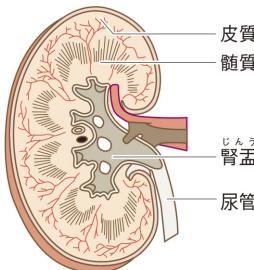
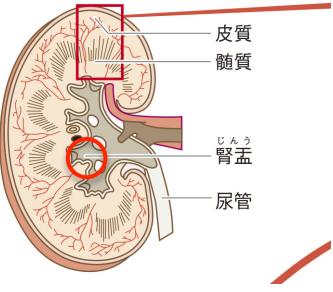
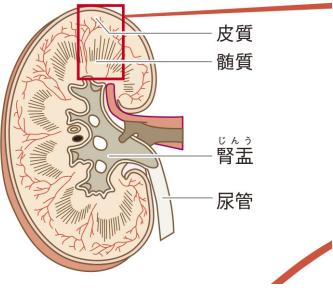
頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
第1章					
37	左段上から13行目	微纖毛	微 纖 毛		18/04/12
38	左段下から3行目	肋軟骨関節表面を覆う	肋軟骨 骨 関節表面を覆う	カンマを追加	18/04/12
38	右段上から6行目	カルシウムの99%は	体内のカルシウムの99%は		18/04/12
39	図11 骨組織	 <p>骨組織 骨細胞をいれる骨小腔 白血球 血管の通路 フィブリノーゲン</p>	 <p>骨組織 骨細胞をいれる骨小腔 白血球 血管の通路 フィブリノーゲン</p>	骨小腔をさす線の位置を訂正いたします	18/08/17
39	右段下から1行目	細長い筋線維に	細長い筋原線維に		18/04/12
41	左段上から13行目	長いものは数10cmに達する。	長いものは1mに達する。		18/04/12
42	左段下から11行目	交接器の腫	交接器の腫		18/04/12
第2章					
45	Point1の2行目	胃・小腸・大腸および胆嚢	胃・小腸・大腸	赤字部分を削除	18/04/12
46	左段上から4行目	胃・小腸・大腸および胆嚢	胃・小腸・大腸	赤字部分を削除	18/04/12
46	図2			※1を参照	18/04/12
50	左段上から4行目	○咽頭扁桃（一般にアデノイドという）	○咽頭扁桃（咽頭扁桃の腫れたものをアデノイドという）		18/04/12
56	左段下から10行目	リバーゼは、舌、胃からも	リバーゼは、舌 腺 、胃 腺 からも		18/04/12
60	右段上から1行目	ペプチン	ペプシン		18/07/11
65	左段上から1行目	伴うものまである。	伴うものまである。閉塞性黄疸の原因となる。		18/04/12
65	右段上から2行目	閉塞性黄疸の原因となる。		赤字部分を削除	18/04/12
第3章					
72	左段上から7行目	脾臓などの細網内皮細胞に	脾臓などのマクロファージに		18/04/12
76	図11	細網内皮系細胞（脾臓など）	マクロファージ（脾臓など）		18/08/17
76	左段上から5行目	脾臓などの細網内皮系細胞に取り込まれ	脾臓などのマクロファージに取り込まれ		18/08/17
77	左段下から2行目	サプレッサーT細胞などになる。	制御性T細胞などになる。		18/04/12
第4章					
87	左段下から8行目	心筋は横紋筋であるが、骨格筋と異なり、個々の細胞	心筋は横紋筋であるが、個々の細胞	赤字部分を削除	18/04/12
87	左段下から6行目	細胞膜には境界板（ギャップ結合）がみられ。	細胞膜には介在板がみられ。		18/04/12
89	右段下から6行目	胸部単極肢誘導が行える。	単極胸部誘導が行える。		18/04/12
95	図12 図説明下から3行目	大動脈小体、大動脈洞の圧受容器からの情報は、	大動脈小体、大動脈 丘 の圧受容器からの情報は、		18/04/12

96	右段下から3行目	左心室の等溶性収縮によって	左心室の収縮によって	赤字部分を削除	18/04/12
98	左段上から10行目	大動脈洞には圧受容器が存在し、	大動脈弓には圧受容器が存在し、		18/04/12
98	左段上から19行目	頸動脈洞や大動脈洞の	頸動脈洞や大動脈弓の		18/04/12
98	左段下から11行目	大動脈洞の圧受容器からの	大動脈弓の圧受容器からの		18/04/12

第5章

109	図2	喉頭隆起	喉頭隆起		18/08/17
112	右段上から8行目	腹腔内圧の陰圧が減り、	胸腔内圧の陰圧が減り、		18/04/12

第6章

122	図1の腎臓の断面			腎孟をさす線の位置を3mm程右に訂正いたします	18/08/17
124	図2 (A)腎臓の断面	(A)腎臓の断面 拡大し、その中の1つのネフロンをBに示した 	(A)腎臓の断面 拡大し、その中の1つのネフロンをBに示した 	腎孟をさす線の位置を3mm程右に訂正いたします	18/08/17
126	左段上から21行目	その部分には密着斑とよばれる	その部分には緻密斑とよばれる		18/04/12
126	左段上から28行目	(メサンギウム細胞とよばれる)	(糸球体外メサンギウム細胞とよばれる)		18/04/12
132	右段上から12行目	溶解度の低い物質が沈殿する	溶解度の低い物質が結晶化する		18/04/12
132	右段上から13行目	沈殿物が細い尿管を	結石が細い尿管を		18/04/12

第7章

134	概略図 A)	外尿道	外尿道口		18/04/12
135	左段下から9行目	284日	280日		18/04/12

第8章

142	概略図	骨盤	直骨		18/08/17
143	左段上から14行目	頭頂骨、蝶形骨、篩骨が	頭頂骨、後頭骨、蝶形骨、篩骨が		18/04/12
145	図2 成人の骨	頸突起	頸骨弓		18/04/12
148	左段下から2行目	仙骨の岬角から	仙骨の岬角から		18/06/28
150	左段上から5行目	気管軟骨、喉頭軟骨、	気管軟骨、喉頭軟骨、		18/04/12

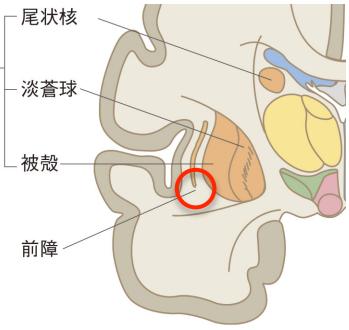
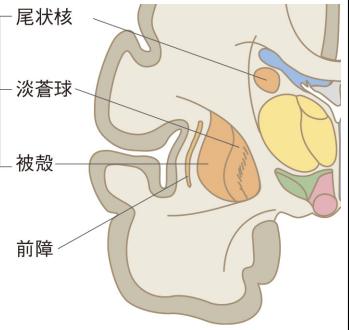
第9章

156	右段上から1行目	(下腰筋、腸骨筋)が存在し、下腿を	(大腰筋、腸骨筋)が存在し、大腿を		18/04/12
-----	----------	-------------------	-------------------	--	----------

第10章

173	表2 (左から2列目、下から4行目)	(ゴナドトロピン) ホルモン性腺刺激	(ゴナドトロピン) 性腺刺激ホルモン		18/08/17
178	図8			※2を参照	18/08/17
182	図16	破裂した卵胞	排卵		18/04/12

第11章

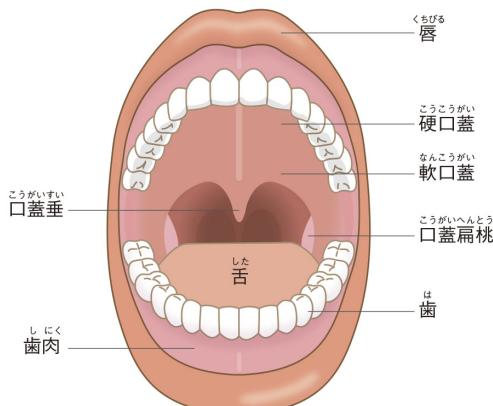
189	左段上から8行目	もんきりがたはんのう 反応を紋切型反応という。	もんきりがたはんのう 反応を紋切型反応という。	「ぎ」→「き」にフリガナを訂正	18/04/12
191	図5			前障のさす線の位置を訂正いたします	18/08/17
193	図6 下部	縁辺系	辺縁系		18/04/20

第12章

208	Point2の1行目	電気信号に 変化 して	電気信号に 変換 して		18/04/12
208	概略図 ②の説明文3行目	神経系の信号に 交換する)	神経系の信号に 変換する)		18/04/12
213	左段上から1行目	近眼視では網膜よりも前に結像し、遠眼視では…	近視眼では網膜よりも前に結像し、遠視眼では…		19/01/22
213	右段上から7行目	その中に同型の膜迷路が収められ	その中に同形の膜迷路が収められ		18/04/12
213	図5	近眼視	近視眼		18/04/12
213	図5	遠眼視	遠視眼		18/04/12

図表

※1 歯の本数がわかりづらいため、イラストを訂正いたします(歯は上下各16本となります)



※2 アルドステロン、デヒドロエピandroステロン、アンドロステンジオンの構造式を訂正いたします

